

商店街名：表参道発展会、豊川商店街振興組合、豊川門前通商店街振興組合、稲美会、本町商店街振興組合、開運通商店街振興組合、豊川中央商店街振興組合、すわポン商店会、プリオテナント会、株式会社本宮
【豊川市、平成 28 年度指定】

1 活性化モデル商店街の概要

●キャッチフレーズ

地域資源で継続的なにぎわいを創出するまち

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

豊川稲荷などの観光資源にも恵まれ、年間の観光客数は 700 万人を超えているものの、商店街は、店主の高齢化、後継者不足、営業力不足等により廃業し、空き店舗・空地が増加傾向にあり、また、店舗等が住居になり経済活力が低下している。

【課題】

- ・中心市街地を中心拠点とし、公共施設や商業などの都市機能をさらに集約することで、まちの利便性を高め維持することが求められる。
- ・商店街等が実施する活性化イベント等への支援を通じて中心市街地の活性化を図ることが求められる。

【対策】

- ・豊川稲荷など集客力の高い観光資源を強みと捉え、平成 25 年に開催された B-1 グランプリで培ったおもてなしの精神を継続しつつ、店主らが主体となり地域の消費者ニーズにあった継続的な事業を推進する。
- ・空き店舗を活用した事業等について検討・実施を行う「リノベーション事業」や「まちなか再生検討事業」など新規事業等にも積極的に取り組むことで継続的なにぎわいの創出の達成を目指す。

◎具体的に取組む事業内容

○外部人材活用促進事業

- (1) 中心市街地商店街合同地域通貨関連事業、まち歩きイベント、まちなか情報発信拠点施設運営、情報発信事業、市民参加事業（28 年度～32 年度）
- (2) まちなか再生検討事業（28 年度～30 年度）

○個性・魅力の創出事業

- (1) ファサード整備事業（28 年度、29 年度）
- (2) 中心市街地魅力アップ PR 事業（28 年度）
- (3) リノベーション事業（29 年度～32 年度）

○地域経済活性化事業

おもてなし空間整備事業等（29 年度、30 年度、32 年度）

2 活性化モデル商店街の実績・成果等

◎商店街の将来ビジョンの実績

イベント及び中心市街地施設等の PR や、商店街イメージキャラクターの啓発活動により市民に対し、積極的に中心市街地の魅力の情報発信を行うとともに、中心市街地の中核施設にある催事場の備品等を充実させることで、計画当初は、中心市街地の魅力を高めることができた。

◎事業実績

○外部人材活用促進事業（H28 年度～H30 年度）

- (1) 中心市街地商店街合同地域通貨関連事業、まち歩きイベント、まちなか情報発信拠点施設運営、情報発信事業、市民参加事業、まちなか再生検討事業等の実施
- (2) すわポン・狐娘ちゃんマネー事業、中心市街地中小商業活力事業、諏訪まちリアルすごろく事業、中心市街地活性化市民参加・情報発信事業、まちなか再生検討事業、市場調査実験店舗設置等事業の実施

○個性・魅力の創出事業（H28 年度～R1 年度）

以下の 4 項目を実施

- (1) ファサード整備事業、中心市街地魅力アップ PR 事業等
- (2) おもてなし空間整備事業、中心市街地再興戦略事業等
- (3) すわポン・狐娘ちゃんマネー事業、豊川・すわまちマーケット、中心市街地活性化市民参加・情報発信事業、中心市街地魅力創造・発信事業
- (4) 公共交通機関利用啓発事業、まちなか再生実証事業、中心市街地中小商業活力事業

○地域経済活性化事業（R1 年度～R2 年度）

イベント集客効果最大限発揮事業の実施

◎事業の効果

イベント及び中心市街地施設等の PR や、商店街イメージキャラクターの啓発活動により地域住民に積極的に中心市街地の魅力の情報発信を行うとともに、中心市街地施設の消耗品等の購入等で公共性の高い中心市街地施設等が充実された。

◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、アルコール消毒液の使用、検温の実施及びソーシャルディスタンスを保つ等の対等を行い、催事場の貸し出しやイベントを実施した。

◎その他の成果

平成 30 年より開催された豊川駅周辺で行われるほいとも祭は、豊川駅周辺の 3 つの商店街（豊川商店街振興組合・豊川門前通商店街振興組合・本町商店街振興組合）が連携して、開催されるイベントである。このイベントが開催されるまでは、それぞれの商店街が個々に活動を実施していたが、これを機に各商店街が協力し、豊川地区全体で活性化を図るような意識改革が行われている。



(個性・魅力の創出事業 (いなり楽市))